

ITガバナンス

基本的な考え方

ITを経営の柱に据えて、事業戦略の推進と経営基盤の高度化を両輪で牽引すべく、IT案件企画・システム開発体制の強化、徹底的な開発効率化・生産性向上およびクラウドシフトを含む最適なシステムアーキテクチャへの抜本的な変革を力強く進めていきます。これらの大前提となるシステム安定運営のさらなる強化に向け、システム障害発生時の未然防止、障害発生時の早期復旧力強化等に不断に取り組み、グローバル水準のガバナンス体制を確立していきます。

システムの安定稼働を支える レジリエンス強化における不断の取組

安定的なシステム運営を維持しつつ、AI活用やクラウドシフト等の次世代ITインフラへの移行に伴うリスクを低減すべく、さらなるシステム障害対策の高度化を推進していきます。具体的には、クラウドも含めたシステム全体の稼働状況を可視化し、システム障害発生状況を即時に把握する体制を整備することに加えて、クラウドにおけるマルチリージョナルバックアップ機能を活用した環境の整備を進めていきます。また、万が一の被災時に備え、重要システムの災害対策環境の強化にも継続して取り組んでいきます。併せて、システム開発・運用プロセスの自動化に加え、AI等を活用して、システム障害が発生する予兆を早期に検知する仕組みを整備することで、障害発生時の原因調査・復旧時間の短縮化を図るとともに業務・システム双方のコンティンジェンシープランの強化を通じた早期復旧力の継続的な高度化に努めていきます。

抜本的なITトランスフォーメーションを支える ガバナンス体制の高度化

迅速なクラウドシフトやAI活用、データ利活用の推進を支えるため、ITインフラ整備を急速に進めていきます。具体的には、セキュアなマルチクラウド環境の構築および、グローバルでのデータ利活用の前提となるデータ活用基盤の構築を進めるとともに、API環境の整備も加速していきます。また、事業部門における開発体制の整備に向け、システム開発において遵守すべきルール拡充やガイドライン整備、開発支援体制の強化を進めるとともに、オンプレミス・クラウド双方に対応したシステムリスク管理体制へと移行していきます。併せて、従来の国内基準を用いたグローバルへの一元適用運営から脱却し、グローバル共通のベースラインと各地域特性に応じた基準の双方を踏まえたガバナンス態勢へと高度化していきます。

今後も、変化の激しい社会環境、ビジネス環境に迅速かつ適切に対応しITトランスフォーメーションを推進すべく、

AIや量子技術等の先端技術の動向等も踏まえたガバナンス体制の機動的な見直しを通じて、グローバルトップティア水準のシステムリスク管理体制を構築していきます。



2025年度の取組

システム障害対応力強化のため、重要システムを中心に業務・システム双方のコンティンジェンシープランを高度化するとともに、全社的なシステム障害対策訓練等に取り組みました。また、地政学リスク等の国内外の環境変化に伴う新たなリスクへの対応を着実に進めるとともに、デジタルビジネス拡大を支えるためのシステムリスク管理体制の高度化に取り組みました。